

オオシラボシアツバ

澄川駐車場広場の北端から降りた所で人の接近を嫌って飛び立った黒い蝶に捕虫網をふるいました。網から取り出す時に蛾の一種であることは分かりましたが、初めて見る蛾なので和名は標本にするときに調べることにして、採集しました。2018年7月10日の午後と記録しておきます。

愛用の「札幌の昆虫」を丹念に繰返しめぐりましても該当する姿が見つかりません。形がヤガ科の蛾だと思ったので、ネットでヤガ科を検索して搜しまして、オオシラボシアツバに一致しました。愛用の図鑑「札幌の昆虫」には記載されておりません。

ネットで調べた結果、分布は結構広くて北海道、本州、四国、九州及び対馬。世界的には中国、朝鮮半島、ロシア南東部のようです。幼虫の食草はブナ科のコナラ属クヌギとありますが、澄川ではミズナラでしょう。出現は5～9月、大きさは32～50^{ミリ}、上載標本個体は42^{ミリ}でした。



ネットで見つけた自然状態の写真がありましたので、借用いたしました。両上翅の白い紋と、下翅の小さい白点が特徴的です。地色は焦げ茶色ですが、薄いから濃いまで個体差があります。

図鑑「札幌の昆虫」に掲載されていない虫の2例目です。1例目はスジグロチャバネセセリです。これらの例からも澄川森林の自然度の良好具合の指標だと思う次第であります。さらに3例目、4

例目の発見に期待が膨らむ次第でありました。

2018年6月17日の採集初回日から7月22日までの6機会に採集された標本は会員諸兄のご協力も頂きまして早くも標本箱2箱が埋まるレベルに達しております。まだ仮止めです、最終整理はシーズン終了後にするつもりです。2～3年頑張れば10箱程度の充実した標本が出来るものと期待する次第であります。

今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。(記 高野)

